中学国語

動詞.10 他動詞・自動詞

年　　組　　番

名前

解答

自動詞…働きかける対象がない。動作・作用・存在のみを表す。
例　とびらが閉まる。
他動詞…働きかける対象がある。対象に働き掛ける動作・作用を表す。
「～を」の形で表される。
例　とびらを閉める。
自動詞・他動詞の種類
① 自動詞と他動詞が対応関係にある。
例　（自）カギが壊れる。（他）カギを壊す。
② 対応する他動詞がない自動詞。
例　来る、泣く
③ 対応する自動詞がない他動詞。
例　読む、学ぶ
④ 自動詞と他動詞が同じ形のもの。
例　笑う、怒る

(1) 次の線部の動詞は、自動詞・他動詞のいずれか。

① 先生がドアを開ける。（　　）
② 父は新聞を読む。（　　）
③ 雨が静かに降る。（　　）
④ 風でドアが閉まる。（　　）
⑤ 私はポストに手紙を入れる。（　　）

(2) 次の線部の動詞について、対応する自動詞もしくは他動詞を答えよ。

① 父がドアを開ける。（　　）
② お皿がテーブルから落ちる。（　　）
③ 彼はおもちゃを壊す。（　　）
④ 運動会ではちまきの色を変える。（　　）
⑤ 新しい病院が建つ。（　　）
⑥ 私は部屋の電気をつける。（　　）
⑦ お皿がテーブルから落ちる。（　　）

(3) 次の線部の動詞は、自動詞・他動詞のいずれか。

① 鳥が空を飛ぶ。（　　）
② 妹はいつもその橋を渡る。（　　）
③ 私は消しゴムを落とす。（　　）
④ 彼は川を泳ぐ。（　　）

※このプリントは右の【ポテスクプリント】にて無料でダウンロードできます。
Potaschool Print ポテスクプリント